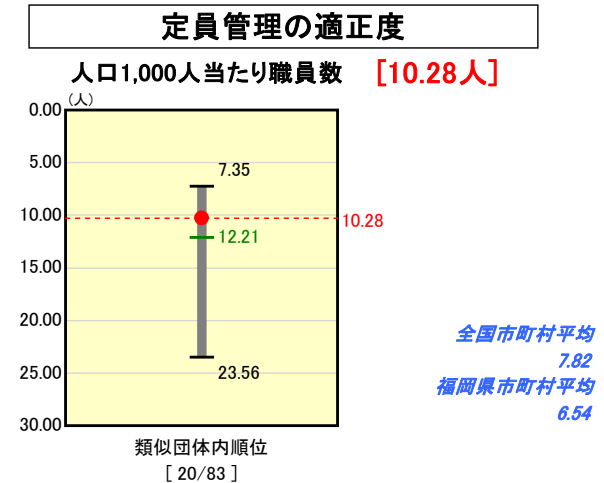
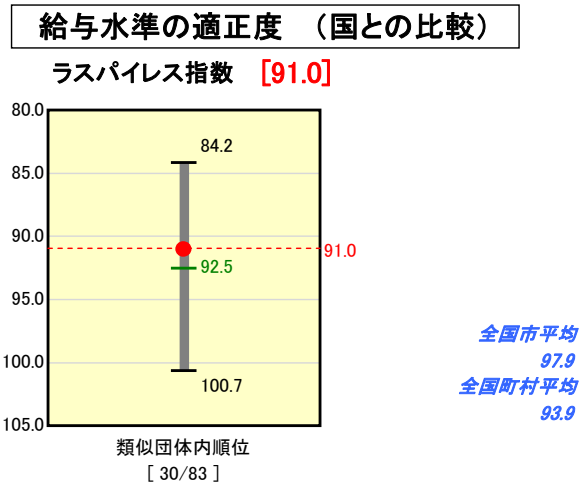
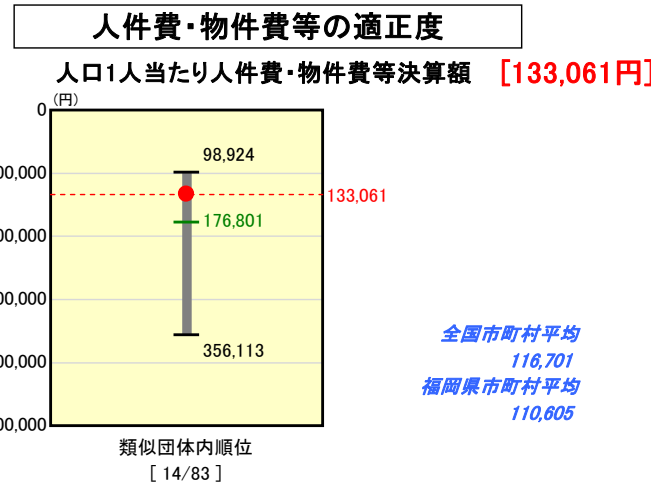
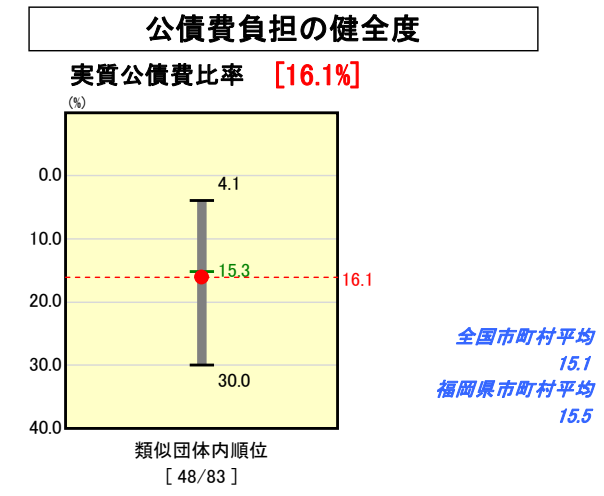
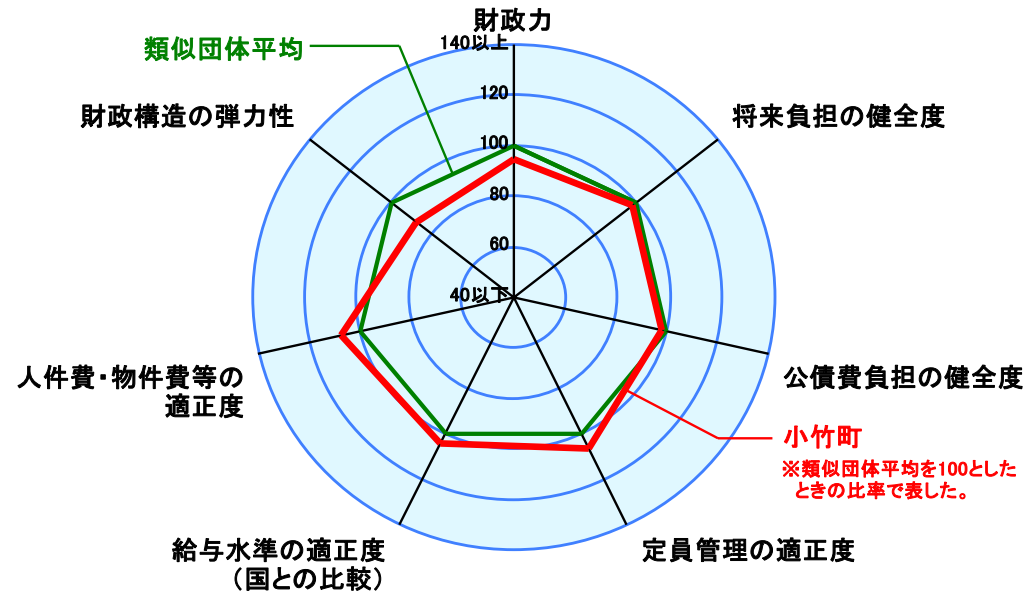
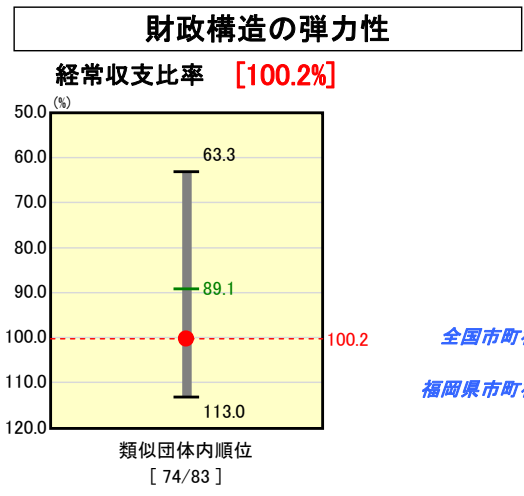
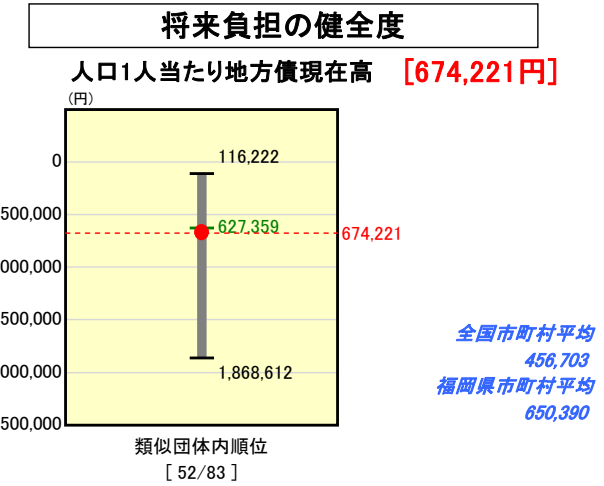
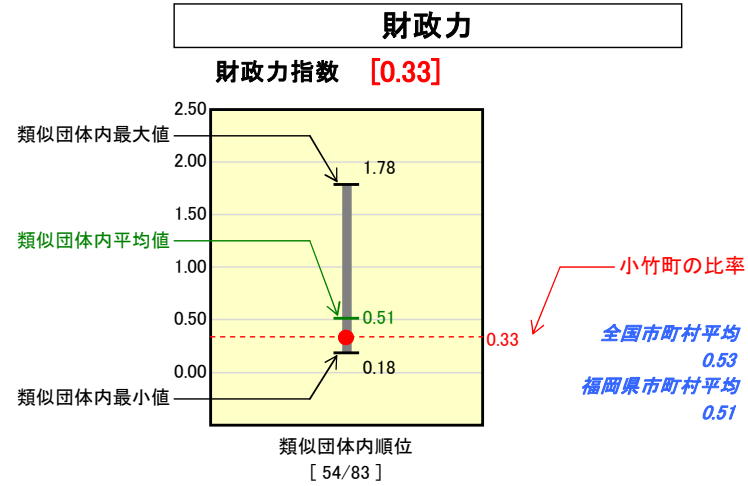


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 小竹町

人口	9,339 人(H19.3.31現在)
面積	14.18 km ²
歳入総額	4,202,190 千円
歳出総額	4,097,528 千円
実質収支	102,185 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
人口の減少に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く類似団体平均を下回っている。第4次行政改革大綱(平成17年度)に沿って、歳出の削減を行うとともに、小竹工業団地の企業誘致を促進し、財政基盤の構築を図る。

経常収支比率
人件費30.5%、補助費等18.7%、公債費25.5%など割合が大きく、類似団体平均より高くなっている。人件費は職員数の削減、公債費は借入額の制限を厳しく行い改善を図っている。補助費等については、塵芥、消防など一部事務組合の経常経費等を縮減し、負担金の軽減を図る。

公債費負担の健全度、将来負担の健全度
旧産炭地からの脱却のため、鉱害復旧事業、地域改善対策事業、産業基盤整備事業等を積極的に行ってきたため、地方債現在高は類似団体を上回っているが、平成17年度から借入額の上限を4億円とし、減少に努めている。

定員管理の適正度
旧産炭地特有の鉱害復旧のため、職員配置を強いられてきたが、平成17年度に終了したこと、また定員管理適正化計画に沿って平成18年度9人の職員を削減した。今後も各課が担当する業務範囲、施策の内容や手法を改めて見直すとともに、組織、機構の簡素・合理化や積極的な民間委託等を行うことにより、平成17年度から5年間で20人の職員削減を年次的に行う。